

世界遺産検定
4 級学習ツール⑨
2022.08

① 『^{とみおかせいしじょう}富岡製糸場と絹産業遺産群』は、明治政府が日本の近代化を目指し、産業を強化するために築かれた製糸場です。西欧に対抗するため、国家の産業や交通網、資本主義などを整えようとした政府の政策は何でしょうか。

(.....)

② 『富岡製糸場と絹産業遺産群』の富岡製糸場の設立にあたり、フランスから招かれた技術者は誰でしょうか。

(.....)

③ 英国の『ダーウェント^{きょうこく}峡谷の工場群』で用いられた^{ぼうせき}紡績技術を発展させた人物は誰でしょうか。

(.....)

④ 次の文中の^{くうらん}空欄を埋めましょう。

建築家 (a.....) が設計した作品のうち、フランスやスイス、アルゼンチンなど 7 カ国に点在する 17 資産が世界遺産に登録されています。日本からは「国立西洋美術館」が登録されました。このように、同じような特徴や背景をもち複数の国にまたがる遺産を、各国が共同でひとつの世界遺産として登録するものを (b.....) といいます。

⑤ アルジェリアの『ムザブの谷』にある都市のうち、中心的な都市は何でしょうか。

(.....)



4級学習ツール⑨ 解答 (2022.08)

① しよくさんこうぎょう 殖産興業

明治政府は殖産興業を目指し、海外の技術を取り入れて日本の産業強化を進めようとしてきました。伝統的な生糸の製造に力を入れるため、フランスから技術を取り入れ、官営の富岡製糸場を築きました。

② ポール・ブリユナ

ポール・ブリユナは、当時フランスの絹産業の中心地であったリヨンで製糸技術を学びました。製糸場の建設地の選定にあたっては、伝統的に ようさん 養蚕が盛んで、水や石炭が豊富にあった富岡を選びました。

③ リチャード・アークライト

『ダーwent峡谷の工場群』は、リチャード・アークライトが発展させた紡績技術を最大限に活用するために築かれました。世界初の産業革命の最初期の工場群で、後の工場建設の見本となりました。

④ a. ル・コルビュジエ b. トランスバウンダリー・サイト

ル・コルビュジエは、近代建築の新たな概念を生み出し、世界的に大きな影響を与えました。コルビュジエの建築作品は『ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への けんちよ こうけん 顕著な貢献』として世界遺産に登録されました。日本初のトランスバウンダリー・サイトでもあります。

⑤ ガルダイア

『ムザブの谷』は11～12世紀ごろにイスラム教徒イバード派のムザブ族が、迫害から逃れて築いた城塞都市です。ベージュやターコイズブルーに塗られた立体的な建物が立ち並ぶ独特な景観で、ル・コルビュジエにも影響を与えたと言われています。